

公益社団法人 低温工学・超電導学会

冷凍部会長 柁川 一弘

応用超電導コンソーシアム

会長 古瀬 充徳

2024 年度 第 6 回冷凍部会(公開)例会 ／第 4 回応用超電導コンソーシアム(オープン)セミナーのご案内

生成 AIをはじめ、IT・ロボット技術の飛躍的な進化や、様々な分野における DX の進展にあわせ、これまで減少傾向であった国内の電力需要が増加の傾向に変わるとの予測があります。増加する消費電力を賄うのは、カーボンフリーな電源である必要があり、「コンパクトフュージョン」への期待が高まっています。世界中で核融合ベンチャーが生まれ、技術開発にしのぎを削っている状況です。このような流れは、これまでの高温超電導マグネット技術の進展が後押ししていることは間違いありません。

本シンポジウムでは、核融合炉の研究開発を行う大学発のスタートアップ企業の戦略、国内外の核融合用高温超電導マグネット技術の動向、コンパクトフュージョンと水素を融合した新しい社会像、に関する講演を企画しました。コンパクトフュージョン実現には多くの技術分野の融合が必要であることは論を俟ちません。一日も早い実用化を期待する幅広い分野の方々のご参加をお待ちしております。

テーマ: コンパクトフュージョンの現状と将来展望

日時: 令和 7 年 1 月 22 日(水) 13:30～17:15

場所: AP 東京八重洲 会議室 L+M

東京都中央区京橋 1-10-7 KPP 八重洲ビル11階 (JR 東京駅八重洲中央口徒歩6分)

参加費: 2,000 円 (資料代として。冷凍部会会員または応用超電導コンソーシアム会員は無料)

プログラム

13:30～13:35	開会の挨拶	冷凍部会長
13:35～14:35	核融合スタートアップの最新動向と京都フュージョン・リングの戦略	中原大輔(京都フュージョン・リング)
14:35～15:35	核融合炉用 HTS マグネット・導体開発の国内外の情勢	柳長門(核融合科学研究所)
15:35～15:50	休憩	
15:50～16:40	小型核融合炉と水素を融合したカーボンニュートラル オフグリッド型社会	平野直樹(核融合科学研究所)
16:40～17:10	討論:コンパクトフュージョンへの期待と課題	
17:10～17:15	閉会の挨拶	応用超電導コンソーシアム 会長

参加申込: 参加ご希望の方は 1 月 17 日(金)までに、(1)氏名、(2)所属、(3)電子メールアドレス、(4)冷凍部会会員／非会員の別、(5)応用超電導コンソーシアム会員／非会員の別を、下記まで電子メールでお送り下さい。

申込・問い合わせ先: 応用超電導コンソーシアム事務局 E-mail : M-AISupercoN-ml@aist.go.jp